

## がんばれミミズ君ダイアリー

—ミミズコンずぼらな記録: その4 (2010)—

### ■2010年12月23日 よいお年を

1. この冬はあちこちでナンテンの赤い実が目立つ。豊作か。我が家の貧弱な木にも赤い実がたわわだ。
2. メリークリスマス。右の写真は東京の花屋さんのショーウィンドウ。よいお年を。

【リーフグリーン／スノーホワイト】



### ■2010年11月14日 エイミー・スチュワート

1. お隣から話のネタにでもと大きなヘチマを2本もらった。試しに種を蒔いたら勝手に育って大きくなっちゃってどうしよう、と。一旦腐らせ中身を乾燥させれば昔風呂場で使った「ヘチマ」になるらしいが、そこまでの気力なし。そうだ、ミミズはどうするだろう…。こうして9月28日、適当にカットし、ミミズ箱に(写真左)。1か月後の10月24日の写真がその右。お見事。

【オリーブ／鶯(ひわ)色】



2. 久しぶりにミミズの本を読んだ。エイミー・スチュワート(Amy Stewart) 著、今西康子訳『ミミズの話』飛鳥新社(2010)。巨大ミミズ(メガスクリデス, [You Tube](#))の話はともかくとして、今まで全く勘違いしていたことを発見。

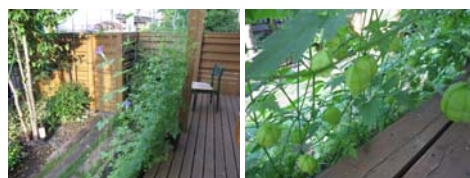
3. ミミズコンポストは湿ったまま使用する。今まですっかり乾燥させていた。それはいずれ土に鋤き込んで使う時にゴミが混ざらないように篩をかけるのだが、そのためには乾燥させた方がやりやすかったから。しかし、乾燥させてはコンポストの恩恵が失われてしまう。

4. なぜなら、土中の有機物を無機物に分解している有用な微生物や植物の生育と窒素固定を助けている真菌が死んでしまうからだ。これらの微生物や真菌は水分がないと生きていけない。せっかくミミズが増やしてくれたのに無駄なことをしていた。ミミズを始めて7年間気を遣っていなかった。今回の最大の収穫。

### ■2010年6月7日～9月28日 風船かずら・朝顔

【深緑／緑】

- 7月18日に書いたように、今夏も風船かずらと朝顔とでグリーンカーテンを作った。楽しみました。
- 5月の始めに昨年収穫した種を蒔き、6月の始めにネットを張り、9月初めに種を収穫し、9月の終わりにネットをはずした。その経過写真の一部。
- ヤマボウシの足元に芽を出した朝顔をヤマボウシに棒を立て懸けて誘導。その途中でも花を咲かせ(3行中央)、ヤマボウシの枝に巻き付きながらついに天頂まで達しました(3行右端)。
- ある日朝顔にカメムシ発生(最下行左端)。ホームページで検索したとおりキンチョールをスプレー。辺りにパタパタと落ちてました。





■2010年8月19日 ヒマワリ

【褐色／向日葵色】



1. 7月、ひまわりの種を蒔いた。ウッドプランターにはミラクルホープ(草丈60cm)、プラスチックのプランターにはサンリッチ。サンリッチの花言葉は「あなたは素晴らしい」。
2. 背が伸びるイエローシャインを、3年前のように、ペットボトル内に咲かせて手作りの木製「花瓶」風(see 2007年7月29日)にしようかと思っただが、どうも家庭内で評判がよくなさそうなので、今年は断念。
3. 夏、ミラクルホープもサンリッチも、写真に納めときやなきやという気にもなれない程度にそれなりに咲き、行き先がなくなったイエローシャインは、塀際に寂しげに咲く(左)。
4. ミラクルホープもイエローシャインも [himawari's homepage](#)さんの [ヒマワリ百選](#)には載っていない。商品名か？因みに、画家のヒマワリ(→写真)。ご参考までに。 [ヒマワリ百選](#)より。

マワリ(→写真)。ご参考までに。 [ヒマワリ百選](#)より。



ゴッホのひまわり

モネのひまわり



ゴーギャンのひまわり

マティスのひまわり

■2010年7月18日 不揃いの朝顔

【スノーホワイト／ピーコックブルー】

3. 今日現在の様子は次のふたつの写真:

西半分(上の写真)と東半分(下の写真)のように、成長具合が明らかに違う。東半分は繁茂の様相。もしかしたら土を作る時の肥料の量が違っていたのかもしれないが、それ以外には、発芽時の日当たりの違いか。

西半分では、枕木が陽を遮って芽を出しても陽が当りにくい。幼い頃に日当たりがよくなかった。幼い頃から陽が当たった東半分では、朝顔があつと言う間に2Fベランダにまで届いた。それに葉がでかい。

4. そうそう、ミズの話。

- 蓋を開けると黒っぽい。ウンチだ。食欲順調で正常な姿。
- 箱の内側にナメクジが這うが、今年はとても多い。箱の周りの地面にはナメクジ忌避剤を撒いたのだが、ミズ箱の蓋を開けると5匹程度は内壁に張り付いている。

る。割りばしで摘みみだす。

ナメクジはどうやって繁殖して何を食べているのだろうか。答えは、たとえば、こちら。卵で繁殖し野菜を食べます…まあそうではない。やっぱり害虫らしいです。生食しないように。

●この夏は不思議とミズアブが来ない。それから、何年か前に大繁殖した、白くて小さい [ヒメミズ](#) もいない。だが、気になるのは、箱の内側にピッシリと付いている土のようなもの(←の写真)。これはミズコンポストではない。シロアリが箱の木材を食った跡？わからない。

●使い古して機能を消失してしまった靴乾燥剤。あれは活性炭とシリカゲルの粒粒だ。ミズ箱の中に放り込んだ。放りこんだ後に思い出したのだが、確か活性炭は虫の忌避剤になるんじゃないか。そうするとミズはこれに近づかない…と心配していた

1. 去年の夏に楽しめたことに味をしめ、6月7日、今年も朝顔と風船かずらで日除けを作ろうと2Fベランダまで届くネットを張る。種は、去年と違って直播。

去年、朝顔はもらった6粒の種を大切に、別の場所で発芽させてから移植した。今年は昨秋収穫した自家製の種を大量に「ばら蒔いた」感じ。指先で土に押し込めた。風船かずらもまもなく芽を出し、勢いよく成長し始めた。

## ■2010年4月25日 水仙・ムスカリ

1. 5か月のご無沙汰です。ご無沙汰は今年だけでなく、どうも、例年年末から年度末にかけての4ヶ月くらいはブランクになる。まあ、冬に庭もミミズも動きがなくて書くことがないからだが、仕事の忙しさのために書くという心の余裕すらないのだ、きっと。

2. さて、書くことがないとは云え、いくつか報告：

- ・ まず、昨秋に球根を植えた水仙とムスカリは、長らく芽が出ず、猫害のため枯れたかと心配したが、3月になってようやく芽を出した。3月29日の写真が右。
- ・ 水仙と言えば越前海岸。その水仙は厳寒2月に咲くので、どうもそのイメージがあり。
- ・ 球根の説明書に従って、水仙を囲んでムスカリを植えたのと(写真：よくわかりませんが)、逆にムスカリを囲んで水仙を植えた場合のふたとおりにした。水仙もムスカリも咲くには咲いたが控え目。今現在は、水仙はすっかりくたびれ、花は無残。ムスカリは健全。

が、今のところあまり苦にしていない様子。

### 【常盤色(ときわいろ)ノクリームイエロー】

3. 3月中にたい肥を大量に取りだした。冬はミミズに食欲がないから与えた生ごみがなかなか消費されない。ミミズ箱のふたが閉まらなくなる。そこで、箱の下からたい肥を掻きだした。その後乾かし、ゴミを取り、篩にかけて出来上がり。そのうち何かを植える時に土に混ぜたり、適当に庭に撒いたり。

4. 4月、そう言えば、水戸三の丸のお堀の桜も“しみじみ”観ることもなく過ぎてしまった。今年は寒くて、ライトアップを予定した4月2,3日に開花が間に合わず、翌週に延期されたよう。<しみじみ>茨城弁で「しっかり」のこと。

5. 庭に3種類の落葉樹がある。ヒメシャラ、ハナミズキ、そしてヤマボウシ。このうちヒメシャラはすでに若々しい新緑を繁らし始め(下左)、ハナミズキはつぼみが開いた頃(下右)。ヤマボウシは一番遅れて緑の細い葉が萌え出した。